

平成25年度 杉森中学校 第8回学校運営協議会 会議録

日時 平成 26 年度 1 月 30 日(木)17 時 00 分～ 20 時 00 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 高崎 彰
《学校評価委員》大川 洋
安藤 雄太
大熊 康子
國藤 久司

大橋 亮介 (校長)



《杉森中学校事務局》

加藤 雄一(進路指導主任)
シュティーベリング 育子(教務主任)
長谷川 祐子(嘱託事務)



《杉森中学校 PTA》

《学校評価委員》

会長 向笠 佐奈江

会 長 2年生はスキー。3年生は都立・私立の推薦試験でしたね。風邪が流行っているので気をつけてください。今日は後ほど、本校 PTA 会長を交え、学校評価委員会を行いたいと思っています。

校 長 3年生は進路が決まった生徒もいますが、これからの生徒もいます。2年生は菅平スキー教室に行ってきました。今回、大熊委員の娘さんが介助員で参加してくださいました。3日目4日目はスキー日和で、全員が「またスキー教室に行きたい!」と思えるようなスキー教室になりました。

副校長 1年生は校外学習の準備をしているところです。
 駅伝大会で男子が準優勝し区間賞をいただきましたが、JCOMのTVインタビューの様子が放映されました。体育科の先生方の指導の賜物だと思います。

教務主任 2月6日都立出願、2月10日から私立の入試、2月24・25日に都立試験があります。

 学校評価ですが、2月5日の職員会議でまとめて来年度に生かしたいと思います。

進路指導主任 私立の推薦は男子11名、女子12名の生徒が無事合格し、進路が決定しました。2年生はスキー教室で集団生活に取り組み、1年生は校外学習の都内めぐりということで、自分たちでルートを決めて、生きる力を育んでいます。



会 長 教育課程届けで今年新たに取り入れたことは?内部評価の今後の課題はありますか?

教務主任 土曜授業の 11 回の土曜日について、内容をどうするかを決めなくてはけません。

水曜の 5 時間目に杉教研があるので、月曜から移動した水曜の道德のためにどう授業を動かすのか考えるのがこれからの課題です。

A 委員 アンケートの中で、教科に関する教員の肯定率がおおむね高いが、道德の授業によって道德的な考え方や実践力が身についているというところは低いですね。

教務主任 道德道德については長いスパンでしか効果がでません。学校だけでなく、地域や家庭も関係してくるものだと思うのですが…。

会 長 では、土曜日授業について校長先生から…。

校 長 土曜授業と ESS(イングリッシュサマースクール)を一緒にして予算要望をさせていただきました。来年度 6 回英語に特化した授業。英語のルーツを知り、楽しさを知り、コミュニケーションツールになるんだという授業をしたい。講師を呼んで ESS を発展させた、全員が楽しめる国際理解教育として実践の場を作る。「めざせコスモポリタン(国際人)」ということで、予算を要望しています。杉森中は英語の区の学力調査の結果が高いこともあり、ぜひ英語に特化した授業をやりたいと思っています。

会 長 では、学校評価委員会を始めたいと思います。PTA の向笠会長にも学校評価委員として入っていただきます。

校 長 杉並区の教育調査をご覧ください。学校評価アンケートでは、生徒の方が肯定的にとらえています。大体の項目で肯定的なものが多い。

道德教育についてですが、教員の期待に対する結果が出ていないとのことで、学習指導の回答が低いのではないかと。教員は道德をやっていないということではなく、身についたかどうかを評価しているのではないかと。

副校長 区の評価のフォーマットをベースに学校評価アンケートを作成しました。

保護者の結果では 2 番の「わかりやすい授業・基本・基礎が身についている」という項目と 9 番の生活指導「特別支援が必要な生徒への配慮」の項目が低くなっていますが、生徒のアンケートでは評価が高くなっています。21 番の「学校は、明るく活気がある」は保護者も生徒も 90%を超える評価となっています。

副校長 20 番の「学校が清潔に整備されている」という項目は、用務業務のソシオさんがとてもよくやってくれているので、高い評価をいただきました。

この結果は 3 月 14 日に区教委に提出いたします。

会長 では、学校評価報告書についてご説明いただきます。

副校長 今年八王子になった ESS ですが、昨年同様の成果はあったと思います。英語発表でも ESS に参加した生徒がボランティアで名乗り出てくれました。非常に良い取り組みだったので、次年度にもつなげていきたいと思っています。

言語活動の一貫として、書評の取り組みをしてみました。表現活動としてできたのは、よかったが時間的にもう少し検討が必要ですね。朝読書が習慣となっています。図書ボランティアの活動も活発で、このまま続けていきたい。

食育の推進として、雑煮の発表をしました。食習慣のデータをとり外部の講師による講演もやっていきたいと思っています。

2 学年は、栄養士指導のもと給食の献立を考え、コンテストをして選ばれたものを実際に給食室で作ってもらいます。栄養・味・見た目などが審査されます。食文化を含めた食育の取り組みを本校の特色として根付いています。

A 委員 学校評価報告書で B という評価がありますが、なぜなのでしょう？
課題が何であるか、それを読み取れるようにしてほしい。

副校長 昨年始めたばかりなので、まだパーフェクトではないという意味です。

A 委員 学習指導についての評価が低い。この低さはなぜなのでしょう。

司 会 これは、保護者の方からどういう風に見ているのでしょうか。

PTA 会長 中 2 なので、まだまだ関心をもっていない保護者もいるのではないのでしょうか。一般の保護者は、子供が学校の話しをあまりしてくれない、手紙もみせてくれないという方が多いと思います。関心と情報量がどの程度なのか、自分の子がどうなのか…よくわからないという結果が現れたのでは。



B委員 学期末にいただく評価を見てその時に成績がこうなんだ、とわかるんだと思います。グラフになっているので、わかりやすいですね。

C委員 平均を見ての判断ということでしょうか。平均に対して高い評価をだしているのでは？

会長 この発問はすごくむずかしいですね…。

D委員 親としては「うちの子は全然できなくて…」という風に答えがちですよ。普通はこういってしまうことが多いと思います。子供に期待している親が多いのではないのでしょうか。子供に対する評価が大きいためにこういった評価になってしまうのでは？私でもこういうアンケートがきたらやはりこう書いてしまうかな。

PTA 会長 考査の結果をみてからの答えなので、こうになってしまうのかもしれませんが。各項目ごとに見たら、良いものも悪いものもあると思うのですが。

C委員 少数の成果がでてきているということですか？

校長 数・理・社に関してはでていますね。

会長 では、4 ページ目「道徳・総合的な学習の時間・特別な活動について。

副校長 平成 16 年度からフレンドシップスクールが区の方針で 5 月になりました。次年度以降は何を持って 5 月にやるのかということを考えていきたい。

「ふれあい運動会」では生徒がニコニコして参加している。今後も自治力をもって活動していてもらいたいです。

総合的な学習の成果、道徳の項目についての課題など、具体的な説明がほしい。

C委員 道徳を水曜日にした、それで今年度どうなったかについてふれてもいいのではないか。

A委員 道徳の設問が「道徳は、道徳の授業によって身につけている」など限定的になっています。重点目標をもうひとつ作ればいいのか？

指導のあり方、手ごたえがないという事に関しては今後のあり方が大切ですね。

PTA 会長 道徳教育というものが、保護者にとってよくわからない。子供も話さないの、情報がないんです。アンケートに答えづらい。

食育については、課程で御節や雑煮のことを話し合ったりして、取り組むことができたのはよかったとおもいます。しかし、他の家庭ではどうだったんだろう？と言う思いもありました。全体の様子が見えないというか、見る機会がないですよ。中学校での情報を得ることができないために、こういう結果になってしまうのでは…。

校 長 学校でやった家庭とつながるとよいのですが。「学校だより」には、には、
記事を載せています。

PTA 会長 馬橋小では、学校で子供と同じ授業を保護者向けにしてくれるんですよ。子
供がどんなことを習っているのかすごくわかりやすかったです。

A 委員 保護者参加型の授業をするのもいいですね。子供から保護者へのインタビュ
ーなども。



会 長 では、広報誌の方向性についてのご意見。「特色ある学校づくり」のプレゼ
ンに関してもう一度お話をお願いします。

校 長 英語教育ばかりでなく、総合的な学習ということであれば理科や数学もでき
ます。今回、本校で英語を特化していきたいということなのですが、小学校で
は評価につながるから英語をとってもたのしく取り入れている。ところが中
学では評価につながるということから、苦手な子が楽しく学習できない。

学校の授業とぶつからないようにやっていきたい。教える内容の質を求める
ということで、経験のある講師の方をお願いしようと思っています。地域の
方々のボランティアということも考えられますが、継続して中身のあるもの
にしたい。今回はテクニックを持った人にやってもらいたい。

司 会 杉森としてはこういう企画でということですが、どのような感想があります
か？

会 長 ESS の土台をうまく生かしながら、進めていくようですね。助成団体の援
助を受けながらやっていけるようになるといいですね。この杉森の土曜日授業
はとても面白い案ですね。

A 委員 『ユネスコスクール』に近いものなのではないでしょうか。全国に 50 校あるの
ですが、杉並にはないようですね。

司 会 『ユネスコスクール』とは？

A委員 ユネスコ憲章で述べられているものを普及していくというものです。

- 1.地球規模の問題に対するシステムの取り組み。
- 2.人権・民主主義の促進。
- 3.国際理解教育。
- 4.環境教育。

以前シュティー先生がおっしゃっていた ESD(学校における持続可能な発展の為の教育)というものが重要になりますね。平和なところに人権はあるのだということ、多文化・異文化理解・多様性をもとめるということですね。東京オリンピックをふまえて、一校一国運動が東京でもとりくまれています。

オリンピック選手との交流などもするようです。杉森がユネスコスクールになり、総合的な学習でとりくんでいたらよいですね。

C委員 三ヵ年計画を考えてみたらいいでしょう。杉森中は土曜授業に対して位置づけているのか、意思統一をしなくては…。3年後にこういうものにしようという目標を立て、最後はユネスコスクールになっていくのを目標にしていけばよいのでは。工程表をつくってみたらどうでしょう。

校 長 今回の土曜授業の内容が、全教科に生かされたらと思っています。

D委員 パフォーマンス力のある講師をご紹介しました。教員が普段の授業ではやれないことをやってもらう等、土曜日授業では、いろいろな垣根をとりはらってとりくめればよいですね。

PTA 会長 ESS 参加生徒だけでなく、全生徒にも広がるといいですね。土曜日授業が教科ではなく、相手の違いをみとめた上で先にすすんでいけば、総合的な授業になるのでは…。継続して形になるとよいですね。

小学校ではインプットはたくさんあるのに、アウトプットはパターン化されてしまう。中学校では、それを発展させて高めていってほしい。柔軟性を持たせてほしいです。小学校もレベルアップしています。9年間続いた言語活動をよりレベルアップできるようにお願いいたします。

司 会 有難うございました。次回は2月20日です。

